FRESCOBALDI
TOSCANA

Gorgona 2024



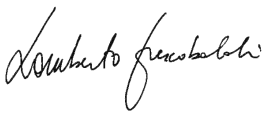
Formati

FRESCOBALDI
TOSCANA

Gorgona 2024

Costa Toscana IGT

「トスカーナ群島は地上の楽園であり、中でもゴルゴーナ島は最も野性的でルミネセンスなアフロディテの真珠といえる。この、一見気難しそうな姿の裏に隠された言葉では表現できないほどの魅惑的な香りと静寂さ、自然の力強さと永遠の若々しさに心を動かされる。そして、空からのメッセージを映し出し、帆綱をきつく縛める海がその周りを囲む。」（アンドレア・ボチェッリー2014）ゴルゴーナ・プロジェクトは、フレスコバルディとヨーロッパで唯一の刑事施設として存在する島ゴルゴーナとの協力により2012年8月に誕生しました。この島で受刑者は、社会的・労務的復帰を容易にする職業訓練を行うため、自然と触れ合い働きながら、刑期の最終期間を過ごします。海が一望できる、すり鉢状の地形の中心にある小さなブドウ畑からこのプロジェクトは始まりました。フレスコバルディに従事する農学や醸造の専門家たちの指導と協力のもと、ブドウ栽培分野の具体的な実技と経験を積むことを目的としています。現在は2ヘクタールのブドウ畑があり、うち1ヘクタールはプロジェクト開始時に、もう1ヘクタールは2015年に植樹しました。この畑では、ヴェルメンティーノとアンソーニカのブドウが栽培されゴルゴーナが造られます。唯一無二の土地と作り手の結晶であり、自由と希望のシンボルです。ゴルゴーナのラベルには、毎年異なる表情を見せるこの島の「スペシャルエディション」でありたいという想いが込められています。ゴルゴーナ2024では、この地に理想的な生息地を見つけた50種の蝶と、土壌を豊かにしながら自然なかたちで生態系のバランスを保ち、受粉を助ける昆虫を引き寄せる緑肥について伝えていきたいという想いがありました。ゴルゴーナは鉄分が豊富な土壌、理想的な東向きに位置し、風から守られた2ヘクタールの小さなブドウ畑から生まれます。このブドウ畑では、ゴルゴーナの紛れもない主役といえるアンソーニカとヴェルメンティーノを栽培しています。1999年に初めて植樹され、続いて2015年、2018年と植樹されました。この島の要素すべてが凝縮されているワインです。'ゴルゴーナにはこの'島の要素すべてが凝縮されています。



気候動向

ゴルゴーナ島の2024年の秋は、10月中旬頃から始まり11月まで豊富な降雨量を記録しました。12月前半にも雨は続き、この月は平年よりもやや高めの気温となりました。2024年の冬は、過去数年の中でも特に暖かい冬として記憶され、平均気温は12～15°C、寒さの厳しい日はほとんどありませんでした。1月には雨はほとんど降りませんでしたが、2月に入ると再び雨の日が多くなりました。3月後半にヴェルメンティーノの発芽が始まり、3月20日頃に確認されました。その後、遅咲きのアンソニカも発芽となりました。4月前半も雨が多く降り、後半には気温が下がったためブドウの成長はやや遅れました。6月は季節平均をやや下回る涼しい日が続き、7月と8月に入っても海からの影響で気温は高めながらも穏やかで雨はほとんど降りませんでした。収穫は、9月第2週にヴェルメンティーノから始まり、アンソニカは10月第2週から始まりました。全体として、2024年の収穫は過去と比較して9月に気温が下がったことからもやや遅めとなりましたが、ブドウの成熟がゆっくりと段階的に進みました。

説明技術的な注意事項

ゴルゴーナ2024は、輝きと深みのある美しい麦わら色を特徴とします。複雑でありながらエレガントなブーケをもちつつ、フローラルな香り、果実の香り、そして地中海を思わせる香りが見事に調和しています。香りの立ち上がりにはエニシダやスイカズラを思わせるフローラルな香りを感じられ、熟したトロピカルフルーツや、ベルガモットやシトロンを思わせる柑橘系の香りが続きます。その後、ローズマリーやセージ、半日香のニュアンスを感じられます。最後にヨードが主役となる香りが広がります。口に含むと風味豊かで非常に爽やかです。余韻は長く続き、味と香りのバランスが見事に表現されています。